

インフォメーション・コーナー

会 告

○平成 27 年度学術基金援助の決定について	72
○平成 27 年度会員名簿の掲載事項について (再) 締切 9 月 30 日	73
○会員 (賛助会員を除く) 登録情報の確認および変更手続きについて (再)	73
○平成 28 年度農業農村工学会賞候補の推薦について (再) 締切 10 月 31 日	73
○「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い	73
○学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集!!	74
○平成 28 年の学会誌表紙写真の募集 夏季締切 9 月 30 日	74
○「水土の知 (農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております!	75
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」購読のお願い	75
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2015 年 1 月から 2017 年 12 月までの編集事務局 (投稿先) のお知らせ	76
○第 50 回畑地かんがい研究会の開催について (第 2 報) ㊦ 申込締切 10 月 5 日	76
○土壌物理研究部会第 54 回研究会の開催について (第 2 報) ㊦ 10 月 25 日開催	78
○材料施工研究部会・農村道路研究部会 研究会・現地研修会の共同開催について (第 2 報) ㊦ 申込締切 10 月 9 日	78
○農地保全研究部会第 36 回研究会の開催について (第 2 報) ㊦ 申込締切 10 月 30 日	79
○第 7 回建設系 CPD 協議会シンポジウムの開催について ㊦ 申込締切 10 月 30 日	80
○(一財)日本グラウンドワーク協会設立 20 周年記念セミナーの開催について ㊦ 申込締切 9 月 25 日	80
農業農村工学会論文集内容紹介	82
学会記事	84

第 83 巻第 10 号予定

展望: これからの農業水利施設のストックマネジメントについて: 大内 毅

小特集: 農業水利施設のストックマネジメントの現状と今後

- ① 灌漑施設の長寿命化における課題と解決策: 新保義剛ほか
- ② 農業水利施設の品質確保と耐久性設計: 浅野 勇ほか
- ③ 補修・補強に関するマニュアル策定をめぐる技術的論点: 長東 勇
- ④ コンクリート二次製品を活用した鋼矢板水路の保全対策: 長崎文博ほか
- ⑤ コンクリート開水路の凍害劣化の発生形態とその診断手法: 石神暁郎ほか
- ⑥ 小規模コンクリート水路の漏水を簡易に補修する新技術: 水間啓慈ほか
- ⑦ 無人航空機 (UAV) を活用したストックマネジメントの展望: 白谷栄作ほか
- ⑧ 将来的なモニタリングが可能な開水路の対策工法: 緒方英彦ほか
- ⑨ 赤池情報量規準を用いた環境ノイズ除去に基づく非破壊弾性波検出精度の改善: 鈴木哲也ほか
- ⑩ 「農業水利施設の機能保全の手引き」の改訂における水利用・水理機能に関する視点整理: 中田 達ほか

技術リポート

北海道支部: 初山別村における集排汚泥利活用に関するアンケート調査: 星 裕之ほか

東北支部: 藤沼ダムの決壊原因と復旧方針について: 渡辺 健ほか

関東支部: 排水ポンプ運転に伴う沼水環境への影響に関する調査について: 柿沼悠夏

京都支部: 軟弱地盤における荷重コントロールによる排水路護岸改修: 山田秋夫

中国四国支部: 津波浸水予測に対応した津波緊急避難塔の計画見直し: 大利 尚

九州沖縄支部: 繁敷ダムドレーン管の更新: 渡辺 勲

小講座: 樺山大輔

私のビジョン: ストックマネジメントとは: 浅野 勇

農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。ふるって参加下さるよう、お待ちしております。

ⓑのマークは、技術者継続教育機構の認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成27年9月25日	京都支部	農業農村工学北陸コンソーシアム第1回 ⓑ 技術研修会	農業用ダムの建設にみる農業農村工学技術の現在と今後の展開	柏崎市	83巻7, 8号
平成27年10月7, 8日	中国四国支部	第70回支部講演会・第39回地方講習会 ⓑ	—	広島市	83巻6, 7号
平成27年10月22日	北海道支部	第64回支部研究発表会 ⓑ	—	札幌市	83巻8号
平成27年10月22, 23日	畑地整備研究部会	第50回畑地かんがい研究集会 ⓑ	農産物の高付加価値化と畑地かんがい	鳥取市ほか	83巻7, 9号
平成27年10月25日	土壌物理研究部会	第54回研究集会 ⓑ	農地を探索するものたち—土壌物理の現場最前線—	佐賀市	83巻8, 9号
平成27年10月26日	関東支部	第66回支部大会講演会 ⓑ	—	つくば市	83巻6, 7号
平成27年10月26, 27日	東北支部	平成27年度総会・第58回支部研究発表会・第48回支部研修会・第38回地方講習会 ⓑ	—	福島市	83巻6, 7, 8号
平成27年10月28~30日	九州沖縄支部	第96回講演会・講習会・シンポジウム・研修会・交流会・現地見学会 ⓑ	—	那覇市ほか	83巻4, 7号
平成27年11月5, 6日	材料施工研究部会 農村道路研究部会	研究集会・現地研修会 ⓑ	農道の長寿命化に向けた保全対策について	富山市ほか	83巻7, 9号
平成27年11月12, 13日	農地保全研究部会	第36回研究集会 ⓑ	農地保全・活用の現状と課題(仮)	三島市ほか	83巻7, 9号
平成27年11月18日	建設系 CPD 協議会	第7回シンポジウム ⓑ	建設系技術者の継続教育を考えるシンポジウム2015	東京都	83巻9号
平成27年11月19, 20日	京都支部	第72回支部研究発表会 ⓑ	—	大津市	83巻4, 6号
平成27年11月26日	北海道支部	第38回研修会または第35回シンポジウム ⓑ	—	札幌市	—

平成27年度学術基金援助の決定について

平成27年度学術基金の援助は、下記の5名に決定いたしました。

記

研究奨励援助者

研究課題 水田地帯での持続的流域管理法の提案に向けた水質水文モデル SWAT の改良

代表者 土屋遼太 東京農工大学大学院農学府

共同研究者 加藤 亮 東京農工大学大学院農学研究院

共同研究者 Jaehak Jeong Texas A&M 大学

国際学術会議出席援助者

氏名 中道理介 京都大学大学院農学研究科

出席会議 PAWEES-INWEP Joint International Conference 2015

場所 マレーシア, クアラルンプール市

期日 2015年8月19~21日

氏名 倉澤智樹 神戸大学大学院農学研究科

出席会議 The 25th International Ocean and Polar Engineering Conference

場所 アメリカ合衆国, ハワイ州, コナ

期日 2015年6月21~26日

氏名 川畑 誠 京都大学大学院農学研究科

出席会議 PAWEES-INWEP Joint International Conference 2015

場所 マレーシア, クアラルンプール市

期日 2015年8月19~21日

氏名 伊東雄樹 明治大学大学院農学研究科

出席会議 2015 SSSA Annual Meeting

場所 アメリカ合衆国, ミネソタ州, ミネアポリス市

期日 2015年11月15~18日

平成 27 年度会員名簿の掲載事項について（再）

平成 27 年度版の当学会会員名簿の発行に係る掲載事項については、個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、従来どおり当学会の「会員名簿の発行に伴う個人情報の扱い」により対処します。掲載事項としている下記の事項について、掲載に同意されないものがあれば、会員番号と氏名を明記の上、郵送、E-mail または FAX で 9 月 30 日（水）までにご連絡下さい。（非掲載項目につきましては、前年度までにご連絡を頂いていて、変更のない場合は再度ご連絡を頂かなくても結構です。）

なお、ご連絡がない場合は、下記事項の掲載に同意されたこととさせていただきます。

記

会員名簿掲載事項

- ①【氏名】 ②【会員番号】 ③【出身校】 ④【卒年】
⑤【資格】 ⑥【勤務先および役職】 ⑦【自宅住所】
⑧【自宅電話番号】

連絡先

郵送の場合：〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4
公益社団法人 農業農村工学会 福嶋あて

E-mail の場合：fukushima@jsidre.or.jp

FAX の場合：03-3435-8494

（参考）

会員名簿発行に伴う個人情報の扱い

以下の項目を遵守することによって、個人情報取扱義務を全うする。

1. 利用目的の特定、利用目的による制限
農業農村工学会会員名簿の作成業務及び会員管理にのみ利用し、この範囲を超えて利用しない。
2. データ内容の正確性の確保
個人情報の正確性、最新性を確保する。
3. 安全管理措置、従業者、委託先の監督
安全管理のために、学会職員、印刷業者等に対して必要かつ適正な監督を行う。
4. 第三者提供の制限
名簿は、公益社団法人農業農村工学会定款第 6 条に定める会員及び同会員が所属する機関に限り原価にて頒布する。

会員（賛助会員を除く）登録情報の確認および変更手続きについて（再）

農業農村工学会では、会員（賛助会員を除く）の現時点の登録情報の確認および変更手続きを、Web 上で行えるシステムを構築いたしました。

学会ホームページトップの会員専用サイトより、会員専用ログインで ID とパスワードでログインし手続きを行って下さい。

なお、会員専用サイトにログインするためには、あらかじめ「会員専用 WEB 利用サービスに関する利用登録の申込み」が必要となりますので、手続きがお済みでない方は先にその手続きをお願いします。

変更の内容を確認するには 1～2 日の期間が必要となります。

平成 28 年度農業農村工学会賞候補の推薦について（再）

平成 28 年度の農業農村工学会賞（上野賞、沢田賞を除く）を、本誌第 83 巻第 6 号 67 ページ掲載の募集要項に則って、推薦書によりご推薦下さい。

締切は、平成 27 年 10 月末日です。推薦書様式および授賞規程は学会ホームページをご参照下さい。

「農業農村工学会学術基金」への募金のお願い

農業農村工学会は、農業農村工学の学術・技術の発展を通じて、わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし、昨今の日本農業はかつてない厳しい環境におかれ、農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり、東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには、若い世代の育成、新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は、これら諸活動に資するものとして、平成 3 年 4 月に学術基金を創設し、これ

に上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し、さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金は今後、学生会員のインターンシップの助成にも対象を拡げる予定です。

個人会員一口 5,000 円（何口でも可）

法人会員一口 50,000 円（何口でも可）

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。
 銀行：みずほ銀行新橋支店
 普通預金 No.1569058

口座名 (社) 農業農村工学会学術基金
 郵便振替：00140-2-54031
 加入者名 農業農村工学会学術基金

学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集 !!

農業農村工学会では、学会員であり、かつ技術者継続教育機構の CPD 個人登録者の方が CPD 単位を在宅のまま取得できる方法として、平成 17 年 10 月号より農業農村工学会誌「水土の知」誌上で「CPD 通信教育」を実施しています。学会員であり、かつ CPD 個人登録者は、どなたでも無料で参加することができ、通信教育分【ac】として年間最大 24 cpd を取得する大きなチャンスとなっています。この機会に、是非 CPD 通信教育へご参加下さい。

なお、解答内容については技術者倫理に則り、自らの責任で送信して下さい。

1. 参加資格

農業農村工学会の個人会員であり、かつ技術者継続教育機構の CPD 個人登録者

2. 出題内容と出題方法

3 カ月前に発行された農業農村工学会誌に掲載された報文等の事実的内容から、択一式で毎月 10 問を出題

3. 解答方法

Web 画面に正解と思う番号を入力し、送信（事前に Web 利用登録が必要）

4. 解答期限

問題掲載月の月から翌月末日まで

(例：学会誌 9 月号掲載の問題は 10 月末日が解答期限)

5. 取得できる CPD 単位

10 問正解で 2 cpd を、7~9 問正解で 1.5 cpd を自動登録（正解数 6 問以下の場合は CPD 単位の付与はされません。）

6. 自動登録の時期

取得した CPD 単位は、解答期限最終日の翌月初旬に自動登録されます。

平成 28 年の学会誌表紙写真の募集

学会誌企画・編集委員会では、平成 28 年発行の学会誌も引き続いて皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。趣旨をご覧のうえ、ご応募下さい。

趣 旨

わが国において、土や水を取り扱う技術の歴史は農業とともに発展してきました。農業の発展の過程で造られてきた幾多の農業施設は、農地を形成し、水を送り、物と人をつなぎ、連綿と我々の生活を支えてきました。これらの農業施設のいくつかは、長年の風雨にさらされながらも、機能を保ち続け、その地域の自然や文化に溶け込み、農村の景観を形成する重要な構成要素となっているものもあります。地域の人の悲願をかなえ続けてきたこれらの農業施設や構造物は、地域の人々によって大切に守り、管理された結果、四季折々に機能美と景観美を放ち続けているはずで

す。農業農村の現場で活躍される皆さま、日ごろ何気なく見過ごしているかもしれない農村地域における農業施設・構造物とそれを含む景観の美しさを再評価いただいて、忙しい業務の合間にも、足を止め、手を休めて写真として記録していただき、広く一般の方々にご紹介下さい。

記

1. テーマ

「農村地域における農業施設・構造物：先人たちの技術と苦労が垣間見える造形美」

2. 対象巻号 学会誌第 84 巻 (平成 28 年 1~12 月号)

3. 写真の種類

応募写真はデジタル、フィルムを問わず六つ切り以上四つ切り以下のサイズにプリントしたものとします。(四つ切りワイド、A4 サイズも含まれます)。なお、六つ切りは 203×254 mm、四つ切りは 254×305 mm、同ワイドは 254×356 mm、A4 は 210×297 mm です。カラー、モノクロは問いません。採用となった写真についてはデジタル写真の場合に限って画像データを送っていただきます。この場合の画像データ量は一点につき 20MB 以下とし、形式は JPEG のみに限定します。

4. 枚数

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

5. 締切 夏季 平成 27 年 9 月 30 日

※応募時、過去 1 年以内に撮影したものに限り

6. 審査 審査委員会 (編集委員と写真家) で選考

7. 結果発表

学会誌第 84 巻第 1 号で採用作品と掲載号を発表し、採用作品は平成 28 年度全国大会会場でパネル展示

8. 謝礼

採用作品には規定の賞金 (1 点につき 3 万円) をお支払いします。また、すべての応募作品が不採用となった応募者には記念品をお送り

9. 「Cover History (表紙写真由来)」について

採用作品の応募者には学会誌掲載の「Cover History (表紙写真由来)」をご執筆いただきます。ご執筆の詳細は、採用決定

時に応募者に直接お知らせします。なお、些少ですが原稿料をお支払いします。

10. 著作権・出版権

採用作品の著作権および出版権は（公社）農業農村工学会に属します。

11. 注意点

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙写真の質として耐えるかということを重視します。具体的には、農業施設・構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれること（花などの情緒物に埋没しないこと）が採用の条件となります。

12. 応募方法および応募先

学会ホームページより、応募票をダウンロードし、タイトル、郵便番号、住所、氏名、勤務先、電話番号、E-mail アドレス、写真のテーマ、撮影場所、撮影年月日、対象物の固有名称（固有名詞）、対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し、応募写真の裏面に貼付してお送り下さい。

なお、原則として、応募写真は返却いたしません。

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

公益社団法人 農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会「表紙写真公募」係

☎ 03-3436-3418 FAX 03-3435-8494

E-mail : henshu@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要

項」を熟読の上、ご投稿下さい。

学会誌 83, 84 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 縮 切 (A 4 判 1,500 字以内)
83 巻 10 号 農業水利施設のストックマネジメントの現状と今後 (仮)	公募終了
11 号 水土の知を次の世代とともに (仮)	公募終了
12 号 ため池の耐震性能診断と保全管理戦略 (仮)	公募終了
84 巻 1 号 農作業安全と土地改良 (仮)	公募終了

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集しておりますので、学会誌企画・編集委員会あてにお寄せ下さい。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

す。

採用された原稿の分量は、刷り 4 ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

送付先 〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

公益社団法人 農業農村工学会

農業農村工学会誌企画・編集委員会あて

TEL : 03-3436-3418 FAX : 03-3435-8494

E-mail : henshu@jsidre.or.jp

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」購読のお願い

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering : PAWEES) では、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を発行しています。

本ジャーナルは、インパクトファクターが 1.151 (2015 年版) と高く、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されていますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっております。

- ① 灌漑 (水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水 (排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全 (土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全 (水源開発, 水文)

- ⑤ 水田の多面的機能 (洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全 (水生, 陸生動植物の生態系)
- ⑦ 地域計画 (農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ バイオ環境システム (水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
- ⑨ 水田の多目的利用 (田畑転換, 施設園芸)
- ⑩ 農業政策 (農村振興, 条件不利地の支援策など)

出版社 : Springer-Japan 社

発行スケジュール : 年 4 回

購読料 : 正会員・名誉会員 12,343 円

学生会員 (院生含む) 8,743 円

非会員の方は購読できません。購読を希望される方は、まず農業農村工学会にご入会の上、お申し込み下さい。

申込先 : 農業農村工学会編集出版部 中村あて

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 2015年1月から2017年12月までの編集事務局（投稿先）のお知らせ

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering)の機関誌、国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」は、2015年7月にVol.13, No.3が発行されました。

本ジャーナルは2009年12月より、トムソン・ロイター社のSCIE (Science Citation Index Expanded) に収録されています。わが国においても学術誌の評価に、SCIEのIF (Impact Factor) が利用されており、本国際ジャーナルはIF=1.151 (2015年版)と高い評価を得ております。

また、世界14カ国からEditor (23名)を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer社からの刊行です。掲載論文は、Review, Article, Technical ReportおよびShort Communicationの4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、年4回の発行としております。投稿者は農業農村工学会員でPWE誌の購読者に限りませんが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

2015年1月から2017年12月までの編集事務局は韓国です。
投稿先：オンライン投稿 (<http://pawe.edmgr.com/>) をご利用下さい。

編集事務局：Professor Dr. Jin-Yong CHOI

Deputy Director General, Institute of Green-Bio Science and Technology
Rural Water and Information Engineering Lab.
Rural Systems Engineering Program, College of Agriculture and Life Sciences, Seoul National University
1 Deahak-ro, Kwanak-gu, Seoul, Korea 151-742
TEL : +82.2.880.4583 FAX : +82.2.873.2087

E-mail : iamchoi@snu.ac.kr

編集方針：水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水、

土壌保全、土地資源や水資源の保全と管理、水田の多面的機能、農業政策、地域計画、バイオ環境システム、生態系の保全、水田保全、田畑輪換等である。

編集体制

・Editor-in-Chief : Dr. Masaru MIZOGUCHI (Japan)

Department of Global Agricultural Sciences, University of Tokyo, Tokyo, Japan

・Editors 14カ国から23名

・Editing Board 26名

・Chief Management Editors

Dr. Jin-Yong CHOI

Institute of Green-Bio Science and Technology, Seoul National University, Korea

Dr. Yoshiyuki SHINOBI

The Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences, Kyushu University, Japan

・Managing Editors

Dr. Haruhiko HORINO

Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, Japan

Dr. Kazunari FUKUMURA

Department of Agricultural Environmental Engineering, Utsunomiya University, Japan

Dr. Yu-Pin LIN

Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Rep. of China

Dr. Ming-Daw SU

Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Rep. of China

出版社：Springer-Japan社

投稿資格：筆者が農業農村工学会員でPWE誌の購読者であること。

投稿要領等：<http://pawe.edmgr.com/>に詳細を記載しています。

第50回畑地かんがい研究集会の開催について (第2報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



本年の畑地かんがい研究集会は、「農産物の高付加価値化と畑地かんがい」をメインテーマとして、研究集会ならびに現地研修会を下記のように開催することになりました。

わが国の高い農業技術は、高品質の畑作物・果実の生産をもたらし、農産物の高付加価値化をもたらしてきました。畑地灌漑はその安定生産に寄与する基盤技術となっています。農産物の高付加価値化は高品質の農産物を海外に輸出するという、こ

れまでとは大きく異なる攻めの農業経営を可能にしています。本研究集会では農産物の高品質化に成功した事例や高付加価値化に資する畑地灌漑技術の紹介を通じて、農産物の高付加価値化に貢献する畑地灌漑のあり方を議論します。つきましては、国、地方公共団体、企業、土地改良区などの団体、さらに大学、研究機関などの技術者、行政官、研究者等におかれましては、この研究集会に多数参加されますようご案内申し上げます。

なお、本研究集会は、農業農村工学会畑地整備研究部会および（一社）畑地農業振興会が共催し2年に1回開催しているものです。

1. 開催日

研究集会 平成27年10月22日（木）
 現地研修会 平成27年10月23日（金）

2. 研究集会

- (1) 会場：とりぎん文化会館小ホール
 （鳥取県鳥取市尚徳町）
- (2) 日時：平成27年10月22日（木）10：00～17：30
 （予定）
- (3) 課題：農産物の高付加価値化と畑地かんがい
 - ①食料・農業・農村基本計画と畑地農業
 農林水産省水資源課 増岡宏司
 - ②果樹栽培の高品質化のための水管理（マルドリ方式）
 農村工学研究所 島崎昌彦
 - ③近年の畑地かんがい新技術
 畑地かんがい資機材メーカー
 - ④鳥取県・江府町奥大山ブルーベリーファームからの報告
 （株）かわばた
 - ⑤砂丘畑における多種多様な畑地農業振興への取り組み
 鳥取県北条砂丘土地改良区 飛川康夫
 - ⑥一筆圃場管理システムを利用した営農管理
 鳥取大学農学部 松村一善
 - ⑦総合討論

（注）上記の講演内容は若干変更の可能性があります。
 なお、本研究集会は「農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム」に申請中です。

- (4) 情報交換会 18：00～19：30 鳥取市内（予定）

3. 現地研修会

平成27年10月23日（金） 8：30～17：00（予定）
 ・福部砂丘のラッキョウ畑，アリドーム実験施設（鳥取大学乾燥地研究センター），鳥取砂丘・砂の美術館，北条砂丘，鳥取県中部の小水力発電施設（予定）
 ・鳥取駅集合，鳥取空港・鳥取駅解散

4. 参加申込み

- (1) 申込方法
 「第50回畑地かんがい研究集会参加申込書」（畑地整備研究部会または（一社）畑地農業振興会のホームページよりダウンロードできます）に必要事項を記載の上，E-mail（添付ファイルとして）または郵送で下記の申込先にお送り下さい。
 畑地整備研究部会
<http://www.jsidre.or.jp/bukai/hatachiseibi/>

newpage1.html
 畑地農業振興会
<http://www1a.biglobe.ne.jp/hataasin/>

(2) 申込先

E-mail：tadaomi@muses.tottori-u.ac.jp
 （E-mailで申込みの方は，件名に「畑地かんがい研究集会参加」と記述して下さい。）

郵送：〒680-8553 鳥取市湖山町南4-101
 鳥取大学農学部 齊藤忠臣

(3) 申込期限 平成27年10月5日（月）

(4) 参加費

	研究集会 (10/22)	情報交換会 (10/22)	現地研修会 (10/23)
畑地整備研究部会員 (畑振会員を含む)	4,000円	4,000円	3,000円
非部会員※	5,000円		4,000円
学生	無料	2,000円	1,500円

※本研究集会の参加と同時に研究部会にご入会いただけます。入会金・年会費は一切必要ありません。

(5) 参加費の振込み

上記の「第50回畑地かんがい研究集会参加申込書」による申込みと同時に，講演会費，情報交換会および現地研修会の参加費を下記へお振り込み下さい。参加費は参加申込書に記載されています。参加費をあらかじめ振り込めない場合は，振込予定日を申込書に記入して下さい。なお，当日会費を持参されますと，受付が混乱しますのでご遠慮願います。なお，振り込まれたお金は返金いたしませんのでご了解下さい。

振込期限：平成27年10月9日（金）
 振込口座：山陰合同銀行（店番053）普通3921605
 口座名義：畑地整備研究部会 猪迫耕二

5. 宿泊

各自でご対応をお願いいたします。

6. 各種問合せ先

畑地整備研究部会事務局
 〒680-8553 鳥取市湖山町南4-101
 鳥取大学農学部 齊藤忠臣
 TEL：0857-31-5391 FAX：0857-31-5393
 E-mail：tadaomi@muses.tottori-u.ac.jp
 畑地農業振興会
 宮本幸一
 〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-11
 TEL：03-3438-2581 FAX：03-3438-2583
 E-mail：hataasin@muj.biglobe.ne.jp

土壌物理研究部会第54回研究集会の開催について (第2報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. 主催 農業農村工学会土壌物理研究部会
共催 土壌物理学会
2. テーマ 農地を探究するものたち
—土壌物理の現場最前線—
3. 日時 平成27年10月25日(日) 9:00~14:30
4. 場所 佐賀大学本庄キャンパス
理工学部6号館(DC棟)1階 大講義室
<http://www.saga-u.ac.jp/gaiyo1/campusmap/index.html> (図中西側㊟)
5. 参加費 1,500円 (要旨集代, ただし学生は無料)
6. 会場への交通手段
佐賀駅バスセンターから市営バスで約15分。バス停「佐大前」で下車して徒歩約5分。
4番 - 佐賀女子短大・高校線(中央大通り・佐大前経由)
11番 - 佐賀大学・西与賀線
12番 - 佐賀大学・東与賀線
63番 - 佐賀女子短大・高校線(紡績通り・佐大前経由)
7. プログラム
9:00 受付
9:50 開会
総合司会: 岩間憲治(滋賀県立大学環境科学部)
10:00~10:45 「からだに良いトマトがうまれた畑」
三重大学大学院生物資源学研究科 成岡 市
10:50~11:35 「フィールドサイエンスの入り口で
- 学生・院生を迎えるにあたって—
東京農業大学地域環境科学部 鈴木伸治
11:40~12:30 (昼食; 詳細は別途ご案内します)
12:30~13:15 「農地の探究—圃場と研究室—」
近畿中国四国農業研究センター 井上久義
13:20~14:30 総合討論
司会: 西村直正(岐阜大学応用生物科学部)
14:30 閉会
・情報交換会(10月24日(土) 17:30~19:30)は前日開催の土壌物理学会大会と共催になります。
8. その他
・都合により一部変更することがあります。
・なお、前日の10月24日(土)に同所にて土壌物理学会大会が開催されます。詳しくは土壌物理学会ホームページ(<https://js-soilphysics.com/conf>)をご覧ください。
9. 問合せ先
農業農村工学会土壌物理研究部会事務局
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
三重大学大学院生物資源学研究科共生環境学専攻
農業農村工学講座農地工学研究室
成岡 市(なりおか はじめ)
TEL: 059-231-9574 E-mail: narioka@bio.mie-u.ac.jp
<http://www.jsidre.or.jp/bukai/dojyou/>

材料施工研究部会・農村道路研究部会 研究集会・現地研修会の共同開催について (第2報)

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



材料施工研究部会と農村道路研究部会では、以下のとおり研究集会および現地研修会を共同開催することといたしましたので、ご案内いたします。多くの皆様の参加をお待ちしております。

1. 期日 平成27年11月5日(木) 研究集会
平成27年11月6日(金) 現地研修会
2. 特定課題 農道の長寿命化に向けた保全対策について
3. 研究集会
(1) 日時: 11月5日(木) 13:00~17:00
(受付開始12:30)
(2) 会場: 富山県農協会館 8階ホール
〒930-0006 富山市新総曲輪2-21
TEL: 076-445-2051
(3) 発表内容: ①招待論文: 特定課題
②研究論文: 特定課題および材料施工・農村道路に関わる研究課題
③技術報文: 材料施工・農村道路に関わる計

画・調査・施工の自由課題

- (4) 参加費: 4,000円/人
4. 現地研修会
(1) 日時: 11月6日(金) 8:30~16:30(予定)
(2) 研修地: 富山県全域の農道工保全対策等事業現場
富山県庁→新湊大橋経由→氷見地区・取付道路沈下対策→富山中部地区・路面再生工法→昼食→雷鳥大橋・耐震対策→新川中部地区・基幹農道整備→JR黒部宇奈月温泉駅(15時半頃到着予定), JR富山駅(16時半頃到着予定)にて解散
(3) 参加費: 2,000円/人(昼食代1,300円が別途必要となります。)
5. 発表申込み
(1) 研究集会で研究論文, 技術報文を発表するためには, 発表申込書の提出が必要になります。発表申込書および原稿作成要領は, 農村道路研究部会のホームページからダ

ウンロードすることができます。

(2) 発表申込みは、発表申込書に必要事項を記入の上、E-mail に添付して申込先に送信して下さい。発表申込みを行う際のメールの表題は「農村道路研究部会研究集会の発表申込み」として下さい。

(3) 発表申込締切：平成 27 年 9 月 4 日（金）
原稿提出締切：平成 27 年 9 月 25 日（金）

6. 参加申込み

(1) 参加申込みは、参加申込書を農村道路研究部会のホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、E-mail に添付して申込先に送信して下さい。参加申込みを行う際のメールの表題は「農村道路研究部会研究集会の参加申込み」として下さい。

(2) 参加申込締切：平成 27 年 10 月 9 日（金）

(3) 参加費は、原則として参加申込みと同時に以下の銀行口座に納金（振込手数料は参加者でご負担）願います。やむを得ない理由がある場合には現地支払い、事後振込みも可能ですので、参加申込みの際に事務局までご連絡下

さい。

銀行名：ゆうちょ銀行 ○○八支店（店番号 008）

口座番号：普通預金 7275973

口座名：農村道路研究部会

7. 発表・参加申込先および原稿提出先

東京農業大学地域環境科学部 竹内 康

〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1

TEL：03-5477-2334 FAX：03-5477-2620

E-mail：bamboo@nodai.ac.jp

8. 部会ホームページ

農村道路研究部会のホームページは、以下の URL です。

<http://www.nodai.ac.jp/eng/original/hyse/JSIDRE/AnnualMeeting.html>

また、農業農村工学会のホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) 中の「研究部会」→「農村道路研究部会」からでも閲覧することができます。

9. 宿泊 各自で手配下さい。

農地保全研究部会第 36 回研究集会の開催について（第 2 報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



1. テーマ 農地保全・活用の現状と課題（仮）
2. 開催日
 - ・研究集会 平成 27 年 11 月 12 日（木）
 - ・現地研修会 平成 27 年 11 月 13 日（金）
3. 場所
 - ・研究集会 三島市文化会館（静岡県三島市）
 - ・現地研修会 静岡県西富士エリア（富士宮市）
4. 研究集会内容
 - 9：30～10：00 受付
 - 10：00～10：10 部長挨拶
日本大学生物資源科学部 河野英一
 - 10：10～10：50 講演①
「耕作放棄水田（棚田）における土壌・土層構造の変化と植物遷移—事例—」 三重大学大学院教授 成岡 市
 - 10：50～11：30 講演②
「農地土壌劣化の予測とその改善における現地適応型アプローチ」
日本大学生物資源科学部教授 ロイ キンシュック
 - 11：30～12：10 講演③
「岩手県における農業農村の復旧復興状況について（仮）」
岩手県農林水産部農村建設課水利整備・管理担当課長 佐々木 剛
 - (12：10～13：00 昼食)
 - 13：10～13：50 講演④
「仙台平野沿岸部における防潮林が農地の飛砂発生等に及ぼす影響評価」

- 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授
持田 灯（仮）
- 13：50～14：30 講演⑤
「シカの食害とダムの堆砂」
農林水産省農村振興局整備部防災課海岸・防災事業調査官 遠藤知庸
- (14：30～14：40 休憩)
- 14：40～15：20 講演⑥
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」について
静岡県交通基盤部農地局農地保全課農村整備班長 望月良英
- 15：20～16：00 講演⑦
「グラウンドワーク三島による環境再生から農業再生・NPO ビジネスへの展開」
グラウンドワーク三島事務局長・都留文化大学教授 渡辺豊博
- (16：00～16：10 休憩)
- 16：10～17：00 総合討論
座長 東京大学大学院 吉田修一郎
- 17：30～19：30 情報交換会（会場：三島市内）
5. 現地研修会内容（案）
 - 8：30 三島駅 集合
 - 8：45 三島駅発（バス）
 - 10：00～11：00 富士マサ、農地保全整備事業（富士宮市村山）視察
 - 11：30～12：30 久保の棚田保全活動 視察

- 12:30~12:45 昼食 (あさぎりフードパーク)
 13:00~14:00 一社一村しずおか運動 (農地活用事業, コ
 ミュニティ活性化事業) 視察
 14:15~15:30 ミルクランド 視察
 16:00 JR 新富士駅 解散

6. 参加費および申込み

- (1) 参加費 研究集会 3,000 円
 情報交換会 5,000 円
 現地研修会 4,000 円
- (2) 申込み・問合せ先
 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866
 日本大学生物資源科学部生物環境工学科
 地域環境保全学研究室 笹田
 E-mail: sasada.katsuhiko@nihon-u.ac.jp

TEL&FAX: 0466-84-3836 (直通)

- (3) 申込み方法および参加費の振込先
 上記メールアドレスに, ①参加者所属, ②参加者名, ③
 参加する会 (研究集会・情報交換会・現地研修会), ④参
 加費振込予定日, ⑤その他 (質問など) を記載し, お送り
 下さい。その後, 参加費を振り込みいただいた時点で申
 込完了とさせていただきます。
- (4) 振込先
 ・ゆうちょ銀行から振込みされる場合
 ゆうちょ銀行 記号 10290 番号 94715621
 ・他の銀行から振込みされる場合
 ゆうちょ銀行 (9900) 店番 082 普通 94715621
 農地保全研究部会 (ノウチホゼンケンキユウブカイ)
- (5) 申込締切 平成 27 年 10 月 30 日 (金)

第7回建設系 CPD 協議会シンポジウムの開催について

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



農業農村工学会技術者継続教育機構が加盟する建設系 CPD 協議会では, 第7回建設系 CPD 協議会シンポジウムを下記要領で開催いたします。詳細については建設系 CPD 協議会ホームページ (<http://www.cpd-ccesa.org/>) をご覧下さい。

- 主催 建設系 CPD 協議会 (構成 17 団体)
- テーマ 建設系技術者の継続教育を考えるシンポジウム
2015 ー継続教育への取組みに関する現状と課題ー
- 日時 平成 27 年 11 月 18 日 (水) 14:00~17:00
- 会場 建築会館ホール
(東京都港区芝 5-26-20 TEL: 03-3456-2051)
JR 山手線・京浜東北線「田町」駅, 都営三田線・浅草線「三田」駅より徒歩 3 分

5. プログラム

【第一部】講演

「国土交通省における CPD 制度活用の現状と課題」

国土交通省大臣官房技術調査課建設技術調整官 富山英範

【第二部】取組み事例報告およびパネルディスカッション

「CPD 制度の活用と課題について」

プログラム提供者とプログラム利用者から

6. 参加費 2,000 円 (当日受付でお支払い下さい。)

7. 申込み

建設系 CPD 協議会ホームページにある参加申込書に必要事項をご記入の上, const@cpd.jsidre.or.jp 宛に 10 月 30 日 (金) までにお申込み下さい。

8. 問合せ

建設系 CPD 協議会事務局

((公社) 農業農村工学会 担当: 花塚・舟阪)

TEL: 03-5777-2098 FAX: 03-5777-2099

E-mail: const@cpd.jsidre.or.jp

(一財) 日本グラウンドワーク協会設立 20 周年記念セミナーの開催について

技術者継続教育機構認定プログラム申請中



日本グラウンドワーク協会 (JGW) は「地域住民・行政・企業のパートナーシップによって行われる地域の環境改善活動を通じ, 持続可能なコミュニティの構築」を目指し, 農林水産省, 環境庁, 国土庁, 郵政省, 自治省の主務官庁の許可のもと平成 7 年 10 月 25 日に財団法人として設立されました。その後, 公益法人改革により平成 24 年 4 月 1 日から一般財団法人に移行しています。

設立以降, 地域におけるグラウンドワーク活動団体の設立支援, 活動団体の活性化支援, 情報の収集・提供, グラウンドワークのノウハウを活かした行政の課題への参画などの活動をしてきました。

今年は設立 20 年目に当たることから, 20 周年記念行事とし

て, 英国グラウンドワーク連合 (GWUK) を招聘し, 10 月 9 日に日本グラウンドワーク協会設立 20 周年記念セミナーを開催することとしました。

農林水産省では「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき, 本年度から多面的機能支払交付金制度を開始しています。本制度は農業者や住民などが主体となった地域資源を保全する活動を支援するものであり, グラウンドワークの理念と同じくするところがあることから, 農林水産省との連携のもと, 地域再生に向けたセミナーにしたいと考えています。また, 企業も CSR のもと, さまざまな環境活動を積極的に行っていますが, 住民, 行政とのパートナーシップに関する最新, 国際的かつ各地で現に行われている話題を聴ける内容と

なっています。

今回の20周年記念セミナーに多数のご参加をいただき、テーマ「住民・企業・行政のパートナーシップによる地域再生に向けて」のグローバルでローカルな最新情報を吸収していたければ幸いです。

1. 主催 (一財)日本グラウンドワーク協会
後援 農林水産省, 駐日英国大使館
協賛 (公社)農業農村工学会ほか
2. テーマ 住民・企業・行政のパートナーシップによる地域再生に向けて
3. 期日 平成27年10月9日(金)
セミナー 13:30~17:30(受付12:50~)
交流会 17:45~19:00頃
4. 場所 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学農学部内 弥生講堂
(一条ホール, セイホクギャラリー)
TEL: 03-5841-8205

5. プログラム

注)現時点の案であり, 変更する場合があります。

- 1) 日本グラウンドワーク協会理事長挨拶
祝辞(農林水産省)など
- 2) 基調講演
「英国のグラウンドワークの今日的意義と日本への期待(仮題)」 GWUK 理事長
「農業農村の多面的機能発揮に向けたグラウンドワーク

活動への期待(仮題)」 農林水産省農村振興局

- 3) 事例報告
「行政・企業・市民のパートナーシップの持続に向けた仕組みづくり(仮題)」 GWUK 専務理事
- 4) パネルディスカッション&現場活動報告
コーディネーター: 千賀裕太郎 (JGW 専務理事)
アドバイザー: GWUK (理事長, 専務理事)
農村振興局
パネリスト: グラウンドワーク活動団体 (2名)
多面的機能支払活動組織等 (2名)
大学活動グループ (1名)
6. 参加費 セミナー5,000円(資料代を含む, 団体割引あり)
交流会 5,000円
※参加費は, 当日会場で申し受けます。

7. 申込締切 平成27年9月25日(金)

8. 参加申込方法および申込先

所属・氏名等を明記し, E-mail, FAX でお申し込み下さい。
〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館1階
(一財)日本グラウンドワーク協会
TEL: 03-6459-0324 FAX: 03-6459-0325
E-mail: saitou@groundwork.or.jp

9. その他

本セミナーは農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム(3cpd)申請中です。

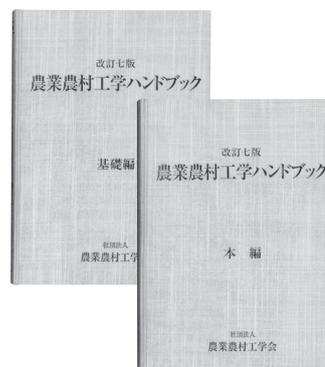
改訂七版 農業農村工学ハンドブック

公益社団法人 農業農村工学会 編

本書は, 学会創立80周年の記念出版事業として, 農業土木学会から農業農村工学会への学会名称の変更等をふまえ, 「改訂六版農業土木ハンドブック」を改訂したものです。

今回の主な改訂点は以下のとおりです。

- ・判型: B5判・8ポイント組, 本編・基礎編の2分冊としました。
- ・販売: 対象読者層の若手技術者および学生層を考慮し, 出版を農業農村工学会独自で行い, 購入しやすい価格を実現しました。
- ・構成: 本編(6部構成), 基礎編(6部構成), 付録編(農業農村工学教育)の構成としました。
- ・内容: 改訂六版の精神を継承した上で, 現代の農業農村工学を体系づけるものとし, 新分野の拡充と既存分野を整理・統合しました。さらに, 基礎編は, JABEE 認定プログラムに配慮して構成しました。



体 裁: B5判 本文約1,250ページ
(本編約800ページ 基礎編約450ページ)
定 価: 20,571円(税込・送料学会負担)
会員特価: 16,458円(税込・送料学会負担)

発行: 公益社団法人 農業農村工学会
TEL: 03-3436-3418 FAX: 03-3435-8494
E-mail: suido@jsidre.or.jp
学会ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp/>